



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月15日

上場会社名 株式会社奥村組 上場取引所 東  
 コード番号 1833 URL <https://www.okumuragumi.co.jp/>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 奥村 太加典  
 問合せ先責任者（役職名） 管理本部 経理部長（氏名） 奥田 俊輔（TEL）06-6621-1101  
 半期報告書提出予定日 2025年1月17日 配当支払開始日 2024年12月10日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

## （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	139,339	2.7	791	△87.7	△3,101	—	△324	—
2024年3月期中間期	135,660	22.1	6,455	75.4	7,180	59.3	5,707	45.5

（注）包括利益 2025年3月期中間期 △6,048百万円（—%） 2024年3月期中間期 13,670百万円（76.6%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	△8.80	—
2024年3月期中間期	155.04	—

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	373,670	179,681	47.8
2024年3月期	384,750	191,573	49.0

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 178,513百万円 2024年3月期 188,691百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	77.00	—	160.00	237.00
2025年3月期	—	113.00			
2025年3月期（予想）			—	87.00	200.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	296,000	2.7	7,400	△46.0	7,500	△49.6	8,550	△31.6	232.05

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	38,665,226株	2024年3月期	38,665,226株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	1,819,303株	2024年3月期	1,837,409株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	36,833,102株	2024年3月期中間期	36,811,504株

(注) 当社は、「従業員向け株式給付信託」を導入しており、本制度に係る信託口が保有する当社株式を期末自己株式数に含めています(2025年3月期中間期 274,200株、2024年3月期 275,000株)。また、同信託口が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めています(2025年3月期中間期 274,515株、2024年3月期中間期 275,000株)。

※第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・決算補足資料は本日TDnetで開示するとともに、当社ホームページに掲載します。

(参考)個別業績の概要

1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の個別業績(2024年4月1日~2024年9月30日)

(1) 個別経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	135,392	4.8	2,657	△55.6	3,237	△55.2	2,879	△50.3
2024年3月期中間期	129,221	18.0	5,986	52.1	7,220	39.4	5,792	34.4

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	78.19	—
2024年3月期中間期	157.35	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	335,345	171,797	51.2
2024年3月期	342,384	180,119	52.6

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 171,797百万円 2024年3月期 180,119百万円

2. 2025年3月期の個別業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	288,200	5.0	10,600	△17.9	11,600	△22.1	10,650	△15.3	289.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### （社内調査委員会の調査結果とその影響）

当社は、2024年10月24日付の「社内調査委員会の設置に関するお知らせ」で公表しましたとおり、当社が受注している工事において生じた費用を、当該工事で計上せず別の工事に計上（原価付替え）する不適切な原価管理（以下、「本事案」といいます。）が行われていたことが判明したため、事実確認、類似事案の有無の確認、原因究明及び再発防止策の策定等を目的として、外部有識者を中心メンバーとする社内調査委員会を設置し、調査等を進めて参りました。

2025年1月15日付の「社内調査委員会の調査報告書の受領及び再発防止策の策定等に関するお知らせ」で公表しましたとおり、社内調査委員会から2025年1月15日付で調査報告書を受領しました。当社としましては、社内調査委員会が認定した事実と原因分析に基づいた再発防止策の提言を真摯に受け止め、本日開催の取締役会において再発防止策を決議し、併せて、経営責任を明確にするために、役員報酬の減額を決定いたしました。

なお、本事案の過去の連結財務諸表に与える影響は軽微であるため、過年度の有価証券報告書、四半期報告書、内部統制報告書及び決算短信の訂正は行わないこととします。当連結会計年度の中間連結財務諸表に与える影響額については「2. 中間連結財務諸表及び主な注記（4）中間連結財務諸表に関する注記事項（追加情報）（不適切な原価管理の影響について）」をご覧ください。

株主、投資家の皆様をはじめ、関係者の皆様に多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを、心より深くお詫び申し上げます。今後、速やかに再発防止策を実行することにより、皆様からの信頼回復に努めて参ります。

### （1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、海外情勢の影響など、先行きに不透明感がみられるものの、雇用・所得環境の改善等を背景に緩やかな回復基調を辿りました。そのような中、建設業界においては、建設投資は堅調に推移したものの、資材価格の高止まりや人手不足による労務費の上昇等により、楽観を許さない事業環境が続きました。

当社グループ（当社及び連結子会社）においては、当中間連結会計期間の売上高は前年同期間に比べ2.7%増加した139,339百万円となりました。損益面では、土木事業の売上総利益率が悪化したこと等により、売上総利益は同31.5%減少した11,548百万円、営業利益は同87.7%減少した791百万円となりました。

また、2024年7月19日に当社の連結子会社である石狩バイオエナジー合同会社が運営する発電施設において発生した爆発事故に起因する商業運転の停止により、同社が適用していた為替予約にかかるヘッジ会計を中止したことに伴い、営業外費用に為替予約評価損を計上したこと等により、経常損失は3,101百万円（前年同期間は7,180百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する中間純損失は324百万円（前年同期間は5,707百万円の親会社株主に帰属する中間純利益）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

#### （土木事業）

受注高は前年同期間に比べ94.8%増加した99,599百万円、売上高は同7.2%減少した45,043百万円、営業損失は756百万円（前年同期間は4,342百万円の営業利益）となりました。営業利益の大幅な減少は、特定の国内大型工事において、当初計画していた施工方法の変更を余儀なくされ、施工効率の悪化や天候不順等が複合的に影響し工程を見直したことに加え、建設資機材価格や労務費が高騰していること等により見積総原価が増大し、原価低減や追加工事の獲得が追いつかず、現時点では損益改善の見通しが立たないため多額の損失を計上することになったこと等によるものです。

#### （建築事業）

受注高は前年同期間に比べ66.9%減少した31,944百万円、売上高は同12.7%増加した87,510百万円、営業利益は同941.6%増加した2,401百万円となりました。営業利益の増加は、売上高の増加に加え、前期からの繰越工事における追加工事の獲得や原価低減による売上総利益率の改善等によるものです。

#### （投資開発事業）

売上高は前年同期間に比べ33.0%減少した4,760百万円、営業損失は1,070百万円（前年同期間は1,524百万円の営業利益）となりました。営業利益の減少は、上記記載の石狩バイオエナジー合同会社の爆発事故に伴う売上高の減少、事故の原因究明のための調査費用や発電施設の維持管理費用等の発生等によるものです。

#### （その他）

売上高は前年同期間に比べ13.3%減少した2,024百万円、営業利益は同44.2%減少した193百万円となりました。

## （2）当中間期の財政状態の概況

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### （資産）

受取手形・完成工事未収入金等が増加しましたが、現金預金や投資有価証券が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ11,080百万円減少した373,670百万円となりました。

#### （負債）

短期借入金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ811百万円増加した193,988百万円となりました。

#### （純資産）

配当金の支払い等により利益剰余金が減少したことや、その他有価証券評価差額金が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ11,891百万円減少した179,681百万円となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間のキャッシュ・フローについては、財務活動により2,195百万円増加しましたが、営業活動により16,182百万円、投資活動により1,366百万円それぞれ減少したことにより、現金及び現金同等物の当中間連結会計期間末残高は、前連結会計年度末に比べ15,521百万円減少した13,396百万円となりました。

当中間連結会計期間中の各キャッシュ・フローは次のとおりです。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

売上債権の増加等により、16,182百万円の資金減少となりました。（前中間連結会計期間は10,167百万円の資金減少）

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

有価証券及び投資有価証券の売却及び償還等により資金が増加しましたが、有形及び無形固定資産の取得等により、1,366百万円の資金減少となりました。（前中間連結会計期間は638百万円の資金増加）

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

配当金の支払い等により資金が減少しましたが、借入金の増加等により、2,195百万円の資金増加となりました。（前中間連結会計期間は8,087百万円の資金減少）

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年7月19日に当社の連結子会社である石狩バイオエナジー合同会社が運営する発電施設において発生した爆発事故に起因する商業運転の停止により、同社が適用していた為替予約にかかるヘッジ会計を中止したことに伴い、当中間連結会計期間において営業外費用に為替予約評価損を計上しており、今後、当社の業績は為替の動向に大きく影響を受ける可能性があります。詳細は2025年1月14日に公表しました「営業外費用（為替予約評価損）の計上及び2025年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

また、2024年11月12日に公表した2025年3月期の通期の業績予想については、概ね計画通りに推移していることに加え、当該為替予約評価損益による影響額を、現時点で入手可能な情報に基づき検証した結果、その影響は軽微であると判断していることから、変更はありません。為替動向を含めた今後の状況により、業績予想の修正が必要となった場合には速やかにお知らせいたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	30,248	14,676
受取手形・完成工事未収入金等	172,323	182,333
販売用不動産	933	753
未成工事支出金	3,695	4,317
投資開発事業等支出金	1,960	2,213
仕掛品	926	1,820
材料貯蔵品	582	650
その他	9,937	10,432
貸倒引当金	△189	△190
流動資産合計	220,418	217,007
固定資産		
有形固定資産		
土地	35,149	36,296
その他（純額）	40,326	40,199
有形固定資産合計	75,476	76,496
無形固定資産		
のれん	348	334
その他	1,457	1,426
無形固定資産合計	1,806	1,760
投資その他の資産		
投資有価証券	68,732	60,737
退職給付に係る資産	5,525	5,487
その他	14,722	14,105
貸倒引当金	△1,930	△1,924
投資その他の資産合計	87,049	78,405
固定資産合計	164,332	156,662
資産合計	384,750	373,670

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	52,074	51,763
短期借入金	16,701	25,801
未払法人税等	3,385	1,946
未成工事受入金	19,161	18,450
引当金	4,307	3,543
工事損失引当金	859	2,303
資産除去債務	86	-
その他	49,791	44,898
流動負債合計	146,367	148,707
固定負債		
長期借入金	5,108	5,007
ノンリコース借入金	22,333	21,408
引当金	150	250
資産除去債務	393	478
その他	18,823	18,136
固定負債合計	46,809	45,280
負債合計	193,176	193,988
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,838	19,838
資本剰余金	26,466	26,510
利益剰余金	107,684	101,424
自己株式	△5,316	△5,267
株主資本合計	148,673	142,505
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,976	29,608
繰延ヘッジ損益	3,840	5,334
退職給付に係る調整累計額	1,201	1,064
その他の包括利益累計額合計	40,017	36,007
非支配株主持分	2,882	1,168
純資産合計	191,573	179,681
負債純資産合計	384,750	373,670

（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）
<b>売上高</b>		
完成工事高	126,221	132,553
投資開発事業等売上高	9,439	6,785
売上高合計	135,660	139,339
<b>売上原価</b>		
完成工事原価	111,865	121,146
投資開発事業等売上原価	6,938	6,644
売上原価合計	118,804	127,790
<b>売上総利益</b>		
完成工事総利益	14,355	11,406
投資開発事業等総利益	2,500	141
売上総利益合計	16,856	11,548
<b>販売費及び一般管理費</b>	10,400	10,757
<b>営業利益</b>	6,455	791
<b>営業外収益</b>		
受取利息	44	40
受取配当金	692	742
その他	327	100
営業外収益合計	1,063	882
<b>営業外費用</b>		
支払利息	299	326
為替予約評価損	-	3,908
その他	40	540
営業外費用合計	339	4,775
<b>経常利益又は経常損失（△）</b>	7,180	△3,101
<b>特別利益</b>		
投資有価証券売却益	1,086	1,540
その他	610	-
特別利益合計	1,696	1,540
<b>特別損失</b>		
固定資産除却損	489	26
その他	-	0
特別損失合計	489	26
<b>税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）</b>	8,387	△1,587
<b>法人税、住民税及び事業税</b>	2,478	1,603
<b>法人税等調整額</b>	382	340
<b>法人税等合計</b>	2,861	1,944
<b>中間純利益又は中間純損失（△）</b>	5,525	△3,532
<b>非支配株主に帰属する中間純損失（△）</b>	△182	△3,208
<b>親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失（△）</b>	5,707	△324

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）
中間純利益又は中間純損失（△）	5,525	△3,532
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,441	△5,367
繰延ヘッジ損益	2,837	2,987
退職給付に係る調整額	△133	△136
その他の包括利益合計	8,145	△2,515
中間包括利益	13,670	△6,048
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	12,433	△4,334
非支配株主に係る中間包括利益	1,236	△1,714

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失 (△)	8,387	△1,587
減価償却費	2,131	1,996
のれん償却額	14	14
固定資産除却損	489	26
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	493	△5
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△158	△158
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△711	1,444
受取利息及び受取配当金	△736	△782
支払利息	299	326
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,086	△1,540
為替予約評価損益 (△は益)	-	3,908
売上債権の増減額 (△は増加)	△14,554	△10,010
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△1,749	△622
その他の棚卸資産の増減額 (△は増加)	339	△1,034
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,311	△1,707
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	2,780	△710
その他	△2,650	△2,604
小計	△8,022	△13,048
利息及び配当金の受取額	736	782
利息の支払額	△227	△236
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△2,653	△3,680
営業活動によるキャッシュ・フロー	△10,167	△16,182
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△57	△156
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	1,802	1,910
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,350	△3,131
有形及び無形固定資産の売却による収入	354	-
貸付けによる支出	△1	△8
貸付金の回収による収入	6	42
その他	△116	△22
投資活動によるキャッシュ・フロー	638	△1,366
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,993	8,000
長期借入れによる収入	-	1,000
長期借入金の返済による支出	△2,000	△0
ノンリコース借入金の返済による支出	△2,311	△925
自己株式の取得による支出	△8	△5
自己株式の売却による収入	0	3
配当金の支払額	△5,759	△5,873
その他	△0	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,087	2,195
現金及び現金同等物に係る換算差額	69	△167
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△17,546	△15,521
現金及び現金同等物の期首残高	48,792	28,917
現金及び現金同等物の中間期末残高	31,246	13,396

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業的前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（不適切な原価管理の影響について）

当社が受注している工事において生じた費用を、当該工事で計上せず別の工事に計上（原価付替え）する不適切な原価管理が行われていたことについて、2025年1月15日に社内調査委員会より調査報告書を受領しました。

原価付替えにかかる売上高、売上原価等への計上額について、過年度及び当中間連結会計期間における連結財務諸表に与える影響を検討した結果、その影響は軽微と判断したため、遡及修正は行わず、当連結会計年度の中間連結財務諸表にて処理することとしています。

（財務制限条項）

連結子会社である石狩バイオエナジー(同)のノンリコース借入金において、財務制限条項への抵触が確認されました。当社は、同社に対して、資金繰り支援のため追加の融資契約を締結しており、債権者から期限の利益喪失に関わる条項の権利行使は受けていません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	土木事業	建築事業	投資開発事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	48,543	77,677	7,102	133,324	2,336	135,660	—	135,660
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	18	18	1,391	1,410	△1,410	—
計	48,543	77,677	7,121	133,342	3,728	137,070	△1,410	135,660
セグメント利益	4,342	230	1,524	6,097	346	6,443	11	6,455

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設資機材等の製造及び販売に関する事業等を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額11百万円はセグメント間取引消去等です。

3 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	土木事業	建築事業	投資開発事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	45,043	87,510	4,760	137,314	2,024	139,339	—	139,339
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	18	18	432	451	△451	—
計	45,043	87,510	4,778	137,332	2,457	139,790	△451	139,339
セグメント利益 又は損失 (△)	△756	2,401	△1,070	574	193	767	23	791

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設資機材等の製造及び販売に関する事業等を含んでいます。

2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額23百万円はセグメント間取引消去等です。

3 セグメント利益又は損失 (△) は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。